

## 営業現場に寄り添ったBI活用で、 組織全体のデータマネジメントスキル向上を狙う

株式会社新生銀行



リテール営業推進部 営業推進役 CRM 担当  
松永 美生氏 (右)  
リテール営業推進部 部長代理 CRM 担当  
鈴木 直樹氏 (左)

## Salesforceに集約した データを可視化し、 スピーディな営業戦略へ活用

テクノロジーとデータ活用を軸に革新的な金融商品やサービスを打ち出し続けてきた新生銀行。Salesforceに一元化したデータを営業活動に活かしていくことを目的に、Salesforceのデータをリアルタイムで集計・可視化するMotionBoard Cloud for Salesforce (以下、MotionBoard) を導入した。今後は特定の部署や担当者に限らず、営業現場自らがデータを活用したアクションを起こしていけるよう、データ活用の定着化を急速に進めている。

## Summary

概要



### 背景・課題

- データ収集・分析に時間がかかり、施策のPDCAにタイムラグが発生していた
- 従前のダッシュボードでは現場が必要とするUIを提供できず、活用が定着しなかった
- 特定の部署や担当に依頼せずとも、現場でできるデータ活用を実現したかった



### 導入のポイント

- データの抽出・加工の作業が不要となり、リアルタイムに状況を把握することができる
- グラフだけでなく、見慣れた集計表や明細一覧で表現できる
- Salesforceとのシームレスな連携により、現場でもスムーズに利用できる



### 効果

- リアルタイムで現状把握できるため、報告のための時間が減り建設的なディスカッションに使える時間が増えた
- データ集計や加工にかかる作業が効率化され、施策のPDCAを早く回せるようになった
- 営業現場で見られるデータの範囲が広がり、データを元にしたコミュニケーションが活性化した

### MotionBoard Cloud for Salesforce

Salesforceとシームレスに連携し  
Salesforce内のデータと社内のデータを  
組み合わせて可視化できるBIダッシュボード



### 営業現場目線で導入した MotionBoardが銀行全体のデータ活用を加速させる

メガバンクとも地域金融機関とも異なる独自のポジショニングで、デジタル技術やデータの活用を積極的に行ってきた新生銀行。約10年前よりSASを使って、大量の顧客データを営業活動に生かしてきたが、手作業が多いことからデータ分析に時間がかかり、施策のPDCAにタイムラグが生じるという課題を抱えていた。2016年に開始したCRM基盤の更改を機に、新生銀行ではSalesforceとともに同一製品群のBIツールを導入。データの一元化と可視化によりスピード感のある施策の実現を図ったが、現場が使い慣れた集計表での表現力や柔軟性の面で思い描いたダッシュボード作成ができず、現場での活用はなかなか定着しなかった。

そこで松永氏は、デモ体験で好印象を受け

た「MotionBoard Cloud for Salesforce (以下、MotionBoard)」の導入に踏み切る。「MotionBoardであれば、グラフだけでなく見慣れた集計表で表現することができるため、現場にも馴染みや「すいだろう」と判断した。また、MotionBoardはSalesforceとの親和性も高く、Salesforce内のタブを切り替えるだけでMotionBoardのダッシュボードにアクセスできる点も評価した。

ダッシュボード作成にあたっては、現場ユーザーが見たい軸でデータを切り出して閲覧できるよう余地を残すなど、現場が見たくなる工夫を仕掛けた。さらに、「誰に向けた、何に使うためのものか」を地道に伝える活動を通じて、徐々に活用

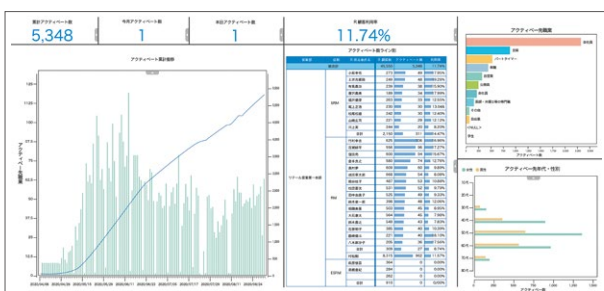
の幅が広がっている。

ツールの導入に満足せず、活用を浸透させるための啓発活動が功を奏し、導入から約1年で1日あたりの閲覧ユーザー数は150人程度まで増加。計数管理部署でのデータ集計や加工にかかる作業効率が上がったことから、営業現場でリアルタイムに現状把握をしながら、状況に応じた対策を講じられるようになってきたという。

新生銀行では、本部が介入することなく現場が自らデータ活用のPDCAを回せる姿を目指している。「行員一人ひとりのスキルの底上げを図りながら、新生銀行をデータドリブンな企業にしていきたい」(松永氏)

営業の予実管理表。  
見慣れた集計表形式で閲覧でき、画面上部で営業部や役割、支店名など、見たい軸で切り替えることができる

アプリのダウンロード数や利用状況に関するダッシュボード。  
チャートをクリックすれば詳細も閲覧可能



※本画面では、全てのデータ(営業部名、支店名、氏名、数値)にサンプルデータを使用しています



株式会社新生銀行

設立 : 1952年  
本社所在地 : 東京都中央区  
URL : <https://www.shinseibank.com/>

情報テクノロジーと金融テクノロジーの融合により、付加価値の高いサービスやソリューションの提供を目指す総合金融企業。先進的で利便性の高いサービスと他にはないユニークさを持った、ハイブリッドかつシームレスな商品・サービスの提供を続けている。

サイト内でより詳しくご紹介しております。

<https://www.wingarc.com/product/usecase/213.html>

